

令和7年度 福島県主催 「医ケア児避難支援ガイドブック活用研修会」での 講演と給電デモンストレーション

2026年3月18日(水)、トヨタ自動車は福島県が郡山市で開催した研修会に参加。
災害時の電動車の活用につき講演を行い、県内の販売会社3社(福島トヨペット株式会社、
トヨタカローラ福島株式会社、ネットトヨタ福島株式会社)と共に、災害時などの停電時に、電動車から
正しく安全に医療機器に給電するためのデモンストレーションを実施しました。

◆研修会概要



- ◇日程：3月18日(水)13:00～16:30
- ◇場所：ビッグパレットふくしま(郡山市) 中会議室/展示ホール
- ◇主催：福島県
- ◇来場者数：140名、当事者ご家族10名 (ZOOM参加あり)
- ◇対象者：医療的ケア児本人・家族
支援関係者(医療機関・福祉事業者等)
行政担当者(防災や福祉の個別避難計画や医療的ケア児担当等)

福島県より、避難支援ガイドブックの活用についての説明の後、
避難計画策定に取り組んだ保護者の方によるトークセッションがありました。
トヨタ自動車からは、災害時などの停電時に、電動車から正しく安全に医療機器に給電するための
講演を行いました。

◆当日の様子 (講演・トークセッション)



講演の様子



保護者の方によるトークセッションの様子

●個別避難計画の必要性と電源の問題

災害時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者について、避難行動要支援者名簿の作成が義務化され、令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが努力義務とされました。

医療的ケア児の災害時避難については、電源確保が可能な避難先の確保等といった特有の課題があり、本人世帯単独で個別避難計画を作成する難しさや、計画作成を支援する市町村でのノウハウ不足等が指摘されています。トヨタ自動車では、自治体の個別避難計画策定促進の一助として、災害時の電動車からの医療機器への給電についての啓発活動を行っています。

●電動車から医療機器への給電に関する注意

⚠ 注意点

- ◇電動車からの給電は、電力会社が供給する電源とは完全に同じではありません。そのため、**商用電源に接続して使用する場合と全く同じ安全性・性能が保証される訳ではない**ことを理解した上で、ご使用ください。
- ◇電動車からの給電は医療機器の動作に影響を与える可能性があるため、**医師や医療関係者、家族と相談して使用**してください。

災害などに起因する停電時に、他に安定した電源が確保できない場合には、電動車活用社会推進協議会が発行している下記マニュアルを参考にしてください

災害時における電動車から 医療機器への給電活用マニュアル

2022年3月25日
国土交通省 安全・環境基準課
経済産業省 自動車課
電動車から医療機器への給電に係るコンソーシアム

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001617494.pdf>

[災害時における電動車から医療機器への給電活用マニュアル](#) (2022. 3. 25) 国土交通省 他

◆当日の様子（給電デモンストレーション）



トヨタカローラ福島株によるクラウンFCEVを使った説明



ネットヨタ福島株によるbZ4Xを使った説明



福島トヨペット株によるMIRAIを使った説明

●QA(一部抜粋)

Q. 非常時給電システムの操作が正しく行われているかは、どのように判断できるか？

A. コンセントの橙色ランプが点灯していることを確認する。

Q. 1500W以上の電力を使用したらどうなるか？

A. 車両からの給電が停止する。電気機器を止めた後、再度給電システムを起動してください。

Q. 通常時はAC100Vは使用できないのか？

A. 通常時も使用可。機器や車両の動作に気を付けてお使い下さい。

Q. 給電は電気自動車(BEV)でなくてもできるのか？

A. 給電車は電気自動車(BEV)だけでなくハイブリッド車(HEV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)、燃料電池車(FCEV)でもできます。発電には、ハイブリッド車(HEV)・プラグインハイブリッド車(PHEV) はガソリン、燃料電池車(FCEV) は水素、電気自動車(BEV) は電気を使います。

